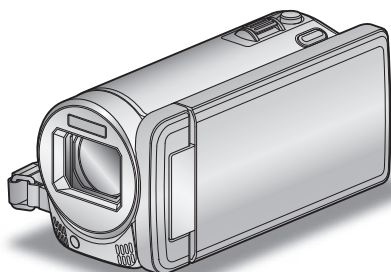
JVC

LYT2312-001A-M

JP

ビデオカメラ

型名 **GZ-HM990**

基本取扱説明書

Everio

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」（p. 2）および「使用上のご注意」（p. 40）を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

Web ユーザーガイド

本製品には "基本取扱説明書"（本書）と "Web ユーザーガイド"があります。
詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド"をご覧ください。

■ **http://manual.jvc.co.jp/c1c/lyt2339-002jp**

■ **本機内蔵のアプリケーションソフトからもアクセスできます。（p. 30）**

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意　感電注意

禁止されていること

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水場での使用禁止

実行して欲しいこと

一般的指示

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示してします。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス（＋）とマイナス（－）のまちがい
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
　万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、端子部に金属が触れないようにビニール袋に入れて保管してください。
・幼児の手の届くところには置かないでください。

禁止

変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用をしないで処分する

・そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。（バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」(p.40)をご覧ください。）

・直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

- **長期間使わないときは…**

① 30%程度充電された状態（▭）で保存してください。
② 半年に1 度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態（▭）で保存してください。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

禁止

内部に物を入れない
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない
・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

⚠ 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。

付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

コンセントやＡＣアダプター(電源/ＤＣプラグ)に、ほこりや金属を付着させない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。

雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店に相談する
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

グリップベルトをゆるんだまま使用しない
・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。

三脚を確実に取り付ける
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

３D映像の視聴のご注意

本機は 2D で撮影した映像を 3D 映像に変換して視聴することができます。3D 映像を 3D 対応テレビで視聴すると、臨場感ある迫力の 3D 映像をお楽しみいただけます。3D 映像を安全・快適にご覧いただくため、以下の注意事項を確認のうえ、正しくお使いください。

3D映像の視聴について

本機で再生する3D映像は、左右の目に入ってくる映像のずれを利用して立体感を感じるようになっています。左右の目に入る映像に違いがあるため、人によっては疲労を感じることがあります。
また、見る映像によっては自分が動いているような錯覚を起こし、映像酔いを起こしやすくなります。

3D液晶モニターについて

液晶モニターは3D映像に対応しています。「３Ｄ」ボタンで液晶モニターの表示を3D映像と2D映像に切り換えられます。

・正面から30cm程度離れて見ると、立体に見えやすくなります。
・正面以外から見ると、立体に見えないことがあります。
・３Ｄ映像に見せる方式上、３Ｄ映像のときは液晶モニターが暗くなります。
　屋外などで見にくいときは、２Ｄ映像に切り換えてください。

⚠注意

禁止

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、睡眠不足の人、疲れた状態の人、酒気を帯びた人は3D映像を視聴しない
・病状悪化の原因になることがあります。

一般的指示

近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は、視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する
３Ｄ映像を視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら使用を中止する
・3D映像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D映像をご覧ください。

一般的指示

３Ｄ映像の視聴中に、疲労感・不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する
・そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
・適度な休憩をおとりください。
・車や電車に乗車中および歩行中など、画面のゆれが想定される環境での3D映像の視聴は、疲労感や不快感などの原因となることがあります。

一般的指示

液晶モニターを３Ｄ表示にして、撮影中や視聴中に疲労感・不快感など異常を感じた場合には、表示を２Ｄ映像にする
・そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

一般的指示

３Ｄ映像を視聴したあとは、十分な休憩をとる
・視聴後に車などを運転するときは、疲労感や不快感がないことを確認してください。

一般的指示

３Ｄ映像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる
・長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

一般的指示

３Ｄ映像を３Ｄ対応テレビで視聴する場合は、画面の有効高さの３倍以上離れて見る
・推奨距離より近い場合、視覚疲労の原因になることがあります。
　推奨距離の目安：42型 約1.6 m程度、46型 約1.7 m程度、
　　　　　　　　　50型 約1.9 m程度、54型 約2.0 m程度

一般的指示

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする
・お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。保護者の方が十分にご注意ください。

もくじ

Web ユーザーガイド

本製品には "基本取扱説明書"（本書）と "Web ユーザーガイド"があります。
詳しい取り扱い方法は下記アドレスの "Web ユーザーガイド"をご覧ください。

■ **http://manual.jvc.co.jp/c1c/lyt2339-002jp**

■ **本機内蔵のアプリケーションソフトからもアクセスできます。(p. 30)**

付属品を確かめる

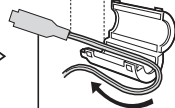
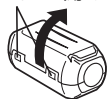
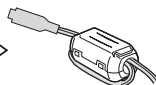
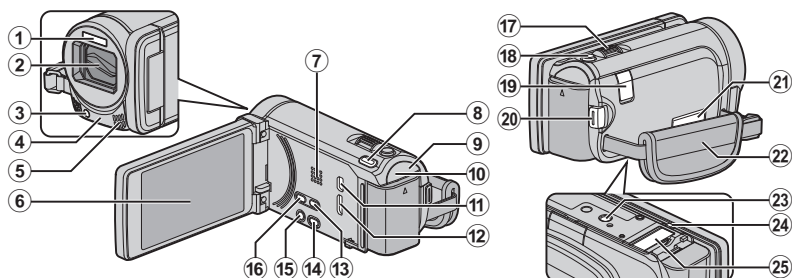
ACアダプター AP-V30※	バッテリーパック BN-VG114	ワイヤレスリモコン RM-V760U	USBケーブル (Aタイプ−ミニBタイプ)	AVケーブル
HDMIミニケーブル	フェライトコア(大) (AVケーブル用)	フェライトコア(小) (ACアダプター用)	基本取扱説明書 (本書)	

- SDカードは別売です。本機で使えるカードの種類については、p. 12をご覧ください。

※ 海外でACアダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

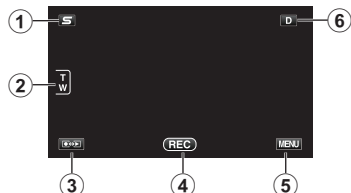
■ フェライトコアの取り付けかた

ＡＣアダプターの電源ケーブルおよびAVケーブル(本機に接続する側)にフェライトコアを取り付けてください。

本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

各部のなまえとはたらき

① フラッシュ(p. 34)
② レンズ/電動レンズカバー
③ ライト(p. 33)
④ リモコン受光部
⑤ ステレオマイク
⑥ ３Ｄ液晶モニター
開閉すると、電源を入/切できます。
⑦ スピーカー
⑧ 3D ボタン(p. 18)
⑨ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ(p. 10)
⑩ ACCESS(アクセス)ランプ
記録中や再生中に点灯/点滅します。
⑪ USB 端子(p. 31)
⑫ HDMI ミニ端子(p. 20)
⑬ USER(ユーザー)ボタン(p. 16、34)
あらかじめ設定した機能を使います。
⑭ 🎥 / 📷(動画/静止画)ボタン
動画と静止画を切り換えます。
⑮ ⏻/INFO(電源/情報)ボタン
撮影：撮影可能時間(動画のみ)やバッテリー残量を表示します。
再生：撮影日などのファイル情報を表示します。
押し続けると、液晶モニターを開いたまま、電源を入/切できます。
⑯ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン(p. 15)
⑰ ズーム / 音量レバー(p. 15、18)
⑱ SNAPSHOT(静止画撮影)ボタン(p. 17)
⑲ DC 端子(p. 10)
⑳ START/STOP(動画撮影)ボタン(p. 15)
㉑ AV 端子(p. 21、26)
㉒ グリップベルト(p. 11)
㉓ 三脚取り付け穴
㉔ バッテリー取りはずしレバー(p. 10)
㉕ SD カードスロット(p. 11)

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。（p. 9）

撮影画面（動画／静止画）

① **フェイスショートカットメニューボタン**
顔認識に関連する設定のショートカット画面を表示します。（p. 34）

② **ズームボタン**

③ **撮影/再生切換ボタン**
撮影/再生モードに切り換えます。

④ **撮影開始/停止ボタン**（p. 15、17）
REC ： 動画撮影開始ボタン
●II ： 動画撮影停止ボタン
： 静止画撮影ボタン

⑤ **メニューボタン**（p. 32）

⑥ **画面表示切換ボタン**
一部の表示は約３秒間で消えます。もう一度表示するときに押します。ボタンを押すたびに約３秒間表示されます。また、ボタンを押し続けると表示を消さないように設定できます。再度、ボタンを押すと設定が解除されます。

再生画面（動画）

① **撮影/再生切換ボタン**
撮影/再生モードに切り換えます。

② **一覧表示ボタン**（p. 18）

③ **削除ボタン**

④ **音量調節ボタン**（p. 19）

⑤ **メニューボタン**（p. 32）

⑥ **操作ボタン**（p. 19）

再生画面（静止画）

① **撮影/再生切換ボタン**
撮影/再生モードに切り換えます。

② **一覧表示ボタン**（p. 18）

③ **削除ボタン**

④ **メニューボタン**（p. 32）

⑤ **操作ボタン**（p. 19）

インデックス画面(一覧表示)

① 日付ボタン
② 撮影/再生切換ボタン
撮影/再生モードに切り換えます。
③ 一覧表示切換ボタン(p. 18)
④ 削除ボタン(p. 18)
⑤ 再生メディアボタン
SD カードと内蔵メモリーを切り換えます。
⑥ メニューボタン(p. 32)
⑦ ページ送り/戻しボタン

メニュー画面

① ヘルプボタン(p. 32)
② メニュー項目(p. 32)
③ 戻るボタン
④ 共通メニューボタン(p. 36)
⑤ 終了ボタン

タッチパネルの使い方

タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の2つの操作があります。以下は操作例です。

A タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。
B タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。

撮影画面

A A

T W
D
REC
MENU

再生画面

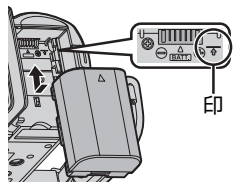
インデックス画面

お知らせ

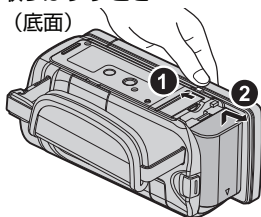
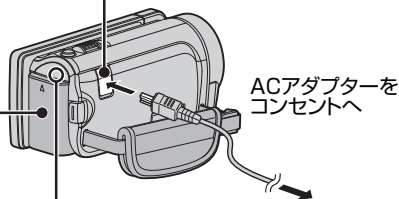
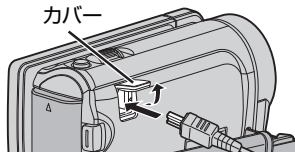
- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 先の鋭い物やかたい物で操作しないでください。
- 2 箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、「タッチパネル調整」(p. 36)を行ってください。(SD カードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしないでください。)

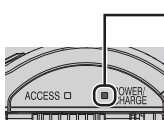
バッテリーを充電する

1 バッテリーを取り付ける

＊ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

● 本体の印とバッテリー上部を合わせて、「カチッ」と音がするまでスライドします。

■ 取りはずすとき

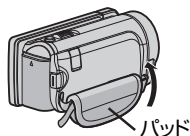
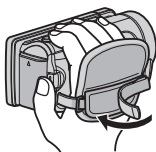
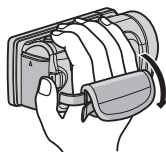
（底面）

2 DC端子につなぐ

3 コンセントにつなぐ

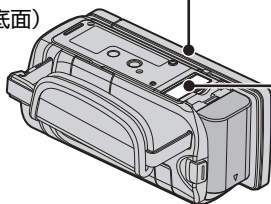
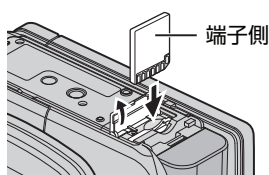
充電ランプ
充電中:点滅
充電完了:消灯

ご注意

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。

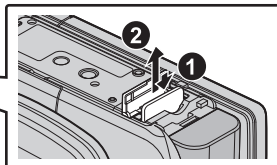
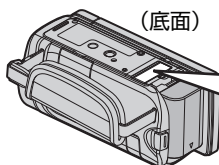
- ビクター製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約2時間30分（付属バッテリーの場合）

※25℃で使用したときの時間です。室温10℃ ～ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。

グリップベルトを調節する

① パッドをめくる　② ベルトの長さを調節する　③ パッドをしめる

SD カードに記録するには

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。(p. 13)
カードがない場合は、メディア設定を "内蔵メモリー"にして撮影してください。
お買い上げ時は "内蔵メモリー"に設定されています。

※ カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。

■ 取り出すとき

カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

お知らせ

次の SD カードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)、Eye-Fi
動画	Class 4 以上対応の SD カード(2 GB)、Class 4 以上対応の SDHC カード(4 GB〜32 GB)、または Class 4 以上対応の SDXC カード(48 GB〜64 GB) (画質 "ＵＸＰ"で撮影するときは、Class6 以上をおすすめします)
静止画	SD カード(256 MB〜2 GB)、SDHC カード(4 GB〜32 GB)、または SDXC カード(48 GB〜64 GB)
Eye-Fi	Eye-Fi Connect X2、Eye-Fi Explore X2、Eye-Fi Pro X2 (、)

- 上記以外のカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- Eye-Fi カードとは、無線 LAN 機能を内蔵した SD カードのことです。詳しくは "Web ユーザーガイド"をご覧ください。
- SDXC カードをご使用する場合は、お使いのパソコンの OS をご確認ください。パソコンの OS の対応状況は、"Web ユーザーガイド"でご確認ください。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。
- メニューの "シームレス撮影"設定を "入"にしておくと内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずに SD カードに続けて記録できます。("シームレス撮影"の設定は、Web ユーザーガイドをご覧ください。)

■ SD カードを使うときは

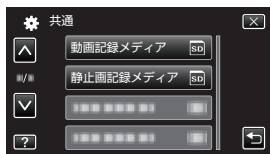
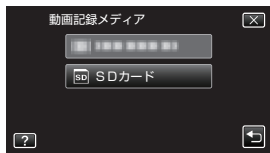
"共通"メニューの "動画記録メディア"または "静止画記録メディア"を "SDカード"に変更すると、カードを使って記録できます。

① 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。

② "MENU"をタッチする

③ "⚙"をタッチする

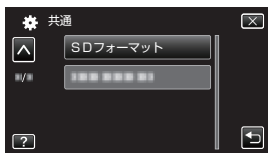
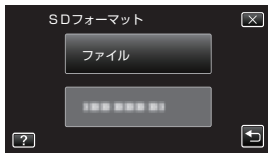
④ "動画記録メディア"または "静止画記録メディア"をタッチする

⑤ "SDカード"をタッチする

⑥ "×"をタッチする

- 設定を終了します。

■ ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは

"共通"メニューの "SDフォーマット"でカードをフォーマット(初期化)します。
フォーマットすると、カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

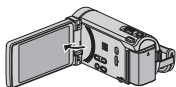
① 「SD カードを使うときは」の手順 ①～③ を実行する

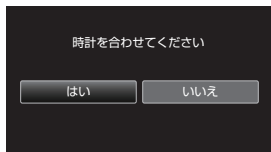
② "SDフォーマット"をタッチする

③ "ファイル"をタッチする

④ "はい"をタッチする

⑤ フォーマットが終わったら、"OK"をタッチする

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

時計を合わせる

1 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。液晶モニターを閉じると、電源が切れます。

2 "時計を合わせてください"が表示されたら、"はい"をタッチする

3 日時を設定する

- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、"∧"と"∨"が表示されます。"∧"または"∨"をタッチして、日時を合わせます。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

4 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする

5 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする(設定完了)

- 都市名と時差が表示されます。
- "<" または ">" をタッチして、都市名を選んでください。

時計を合わせ直すときは

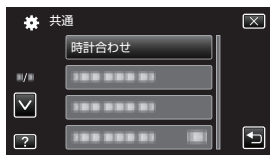
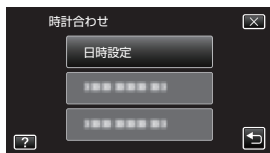
"共通"メニューの "時計合わせ"から時計を合わせてください。

① 液晶モニターを開く

- 本体の電源が入ります。

② "MENU"をタッチする

③ "⚙"をタッチする

④ "時計合わせ"をタッチする

⑤ "日時設定"をタッチする

- 以降の設定のしかたは、前述の手順 3 ~ 5 と同じです。

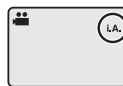
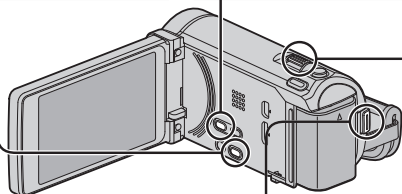
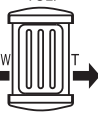
お知らせ

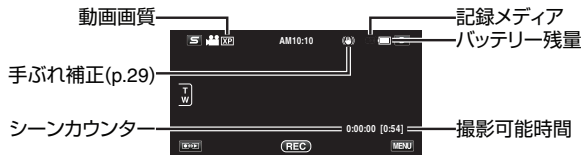
- 長期間使用しないと "時計を合わせてください"が表示されます。AC アダプターを 24 時間以上接続してから、時計を設定してください。(p. 10)

動画を撮る

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

- 人物の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

- タッチパネルの REC ボタンでも撮影できます。撮影を停止するときは、●II ボタンを押します。また、T/W ボタンでズーム操作もできます。

■ 動画撮影中の表示

お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 40 分です。(p. 37)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ＡＣアダプター、SD カードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。
- 本機の液晶モニターは 3D 映像に対応しています。3D モードへの切り換えについては、「3D 映像の視聴のご注意」をご覧ください。(p. 18)
- 3D モードで撮影すると、液晶モニターには 3D 映像が表示されますが、記録される映像は 2D 映像です。

■ 手ぶれ補正について

お買い上げ時は USER ボタンが "手ぶれ補正"に割り当てられています。
ボタンを押すたびに画面のアイコンが切り換わり、設定を変更できます。

- （手ぶれ補正オフアイコン）：手ぶれを補正しません。（切）
- （手ぶれ補正アイコン）：通常の撮影条件で手ぶれを補正します。（通常モード）
- （手ぶれ補正+1アイコン）：明るいシーンを広角側で撮影する場合に、より手ぶれ補正の効果を発揮します。（アクティブモード）※広角側（〜5 倍）のみ

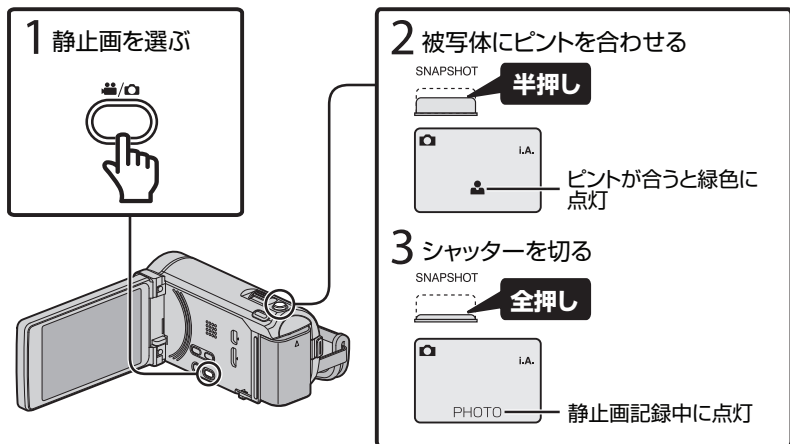
ボタンを押し続けた状態で撮影を開始すると、パワードアクティブモードとなり、（手ぶれ補正+2アイコン）が表示されます。補正エリアがアクティブモードより拡大されます。

■ 顔登録について

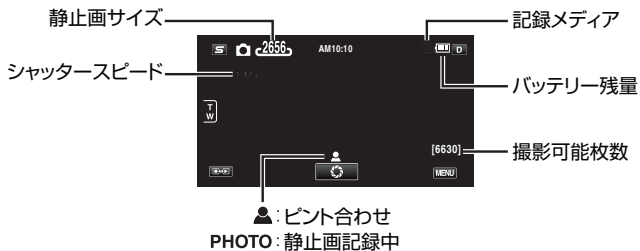
撮影前に顔を登録しておくと、顔追尾機能でその人に明るさやフォーカスを合わせて撮影することができます。最大で 6 人まで顔の登録ができ、その人の名前や優先順位を設定できます。頻繁に撮影する人は、事前に顔を登録することをおすすめします。
詳しくは Web ユーザーガイドの「撮影する/人物の顔を登録する」をご覧ください。

■ タッチ優先ＡＥ／ＡＦ（顔追尾/色追尾/タッチエリア）について

"タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"はタッチした場所の情報を基にして明るさやフォーカスを調整する機能です。お買い上げ時は、撮影メニューの "タッチ優先ＡＥ／ＡＦ"が "顔追尾"に設定されています。画面の顔枠をタッチすると、タッチした顔（人物）にピントや明るさを合わせます。
詳しくは Web ユーザーガイドの「撮影する/被写体をきれいに撮影する（タッチ優先ＡＥ／ＡＦ）」をご覧ください。

静止画を撮る

- タッチパネルの ボタンでも撮影できます。ただし、半押しでのピント合わせはできません。

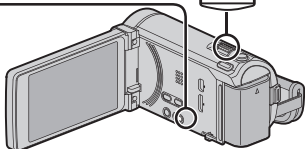
■ 静止画撮影中の表示

:ピント合わせ
PHOTO:静止画記録中

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示から選んで再生します。

1 動画または静止画を選ぶ

2 タッチパネルの●↔▶をタッチして、再生モードにする

* 撮影モードに戻るには●↔▶をもう一度タッチします。

3 再生するファイル(映像)をタッチする

- 内蔵メモリ/SDをタッチすると再生するメディアが切り換わります。
- 再生中に❚❚をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に一覧表示アイコンをタッチすると、一覧表示画面に戻ります。

再生中に音量を調節する

■ 不要な映像を削除するには

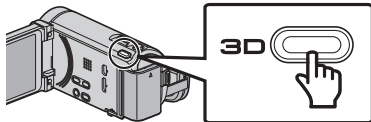
① 🗑をタッチする
② 削除するファイルをタッチする

- 選んだファイルに削除マークが表示されます。削除マークを消すときは、もう一度タッチします。

③ "決定"をタッチする
④ 確認メッセージがでたら、"実行する"をタッチする
⑤ "OK"をタッチする

- 一覧表示の ▭↔目 ボタンは、静止画を再生するときのみ表示されます。また、2 秒以内に連続して撮影された静止画および連写モードで撮影された静止画は、グループ化されて緑色の枠がつき、別の一覧表示に表示されます。▭↔目 ボタンをタッチするたびに、通常の一覧表示とグループ化された一覧表示が切り換わります。

■ 3D 映像を視聴するには

3D ボタンを押すたびに、3D モードと 2D モードに映像が切り換わります。

- 3D 映像を視聴するときは、「3D映像の視聴のご注意」もご覧ください。(p. 4)
- 撮影した被写体によっては、不自然な映像になることがあります。この場合、2D モードで視聴してください。
- 本機の液晶モニターは 3D 映像に対応しています。液晶モニターで 3D 映像を視聴できます。また、3D 対応テレビをお使いの場合は、HDMI ケーブルで接続すると 3D 映像を視聴できます。(p. 20)

■ 再生の 1 コマを静止画として保存するとき

一時停止中に SNAPSHOT ボタンを押します。

■ 再生中に使える操作ボタン(※)

	動画再生中	静止画再生中
▶/❚❚	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
■	停止(一覧表示に戻る)	停止(一覧表示に戻る)
▶▶❚	次の動画に進む	次の静止画に進む
❚◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	-
◀◀	早戻し	-
❚▶	一時停止中にコマ送り／押し続けるとスロー再生	-
◀❚	一時停止中にコマ戻し／押し続けると逆スロー再生	-
🔈	音量調節	-
↶	-	左に 90 度回転
↷	-	右に 90 度回転
⧉	-	連写した静止画の連続再生

※ ボタン表示は約３秒間で消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

■ 視差調整について(動画/静止画共通)

3D 映像を視聴するときに立体感が強い、または弱いことがあります。このようなときは、視差調整(3D レベル調整)をすることにより、立体感を変えることができます。

① "MENU"をタッチする

② "✱"をタッチする

③ "３Ｄレベル調整"をタッチする

- "∧" または "∨" をタッチすると、画面をスクロールできます。

④ レベル("－２"～ "＋２")をタッチする

■ 3D 注意表示について

3D 映像を長時間視聴すると、疲労感や不快感などの異常を感じることがあります。本機は 3D 映像を視聴しているとき、30 分ごとにメッセージを表示します。メッセージを表示させないようにするには、"３Ｄ注意表示"を "切"に変更してください。設定を変更するには、Web ユーザーガイド(設定メニュー/ "共通"メニュー)をご覧ください。

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

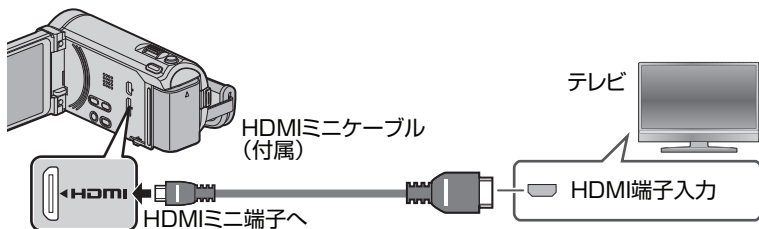
- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

■ **3D 対応テレビで 3D 映像を視聴するとき**

3D 対応テレビをお使いの場合は、本機の HDMI ミニ端子に接続すると 3D 映像を再生することができます。

■ **ハイビジョン画質で再生するとき**

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI ミニ端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

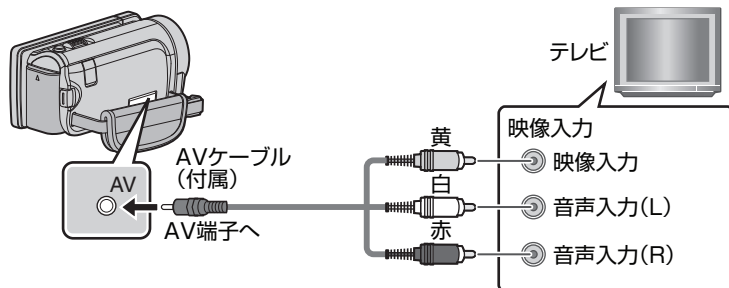
HDMI 端子でつなぐ

お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- 3D 対応テレビで 3D 映像を視聴しているときは、液晶モニターには 2D 映像が表示されます。
- HDMI ケーブルを 3D 対応テレビに接続し、本機を 3D モードの状態で撮影モードにすると、テレビには 3D 映像が表示されます。
- 3D 映像を視聴中に疲労感や不快感などを感じたら、2D 映像で視聴してください。
- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。

AV 端子でつなぐ

2 AC アダプターをつなぐ (p. 10)

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

4 映像を再生する (p. 18)

■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	● "共通"メニューの "ビデオ出力"を "4：3"に変更してください。(p. 36)
テレビに横長に映る	● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	● "ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ"(p. 34)が "入"の状態で撮影した映像を再生するときは、テレビ側の "ｘ．ｖ．Ｃｏｌｏｒ"を "入"にしてください。 ● テレビ側で画面を調整してください。
3D 映像にならない	● "共通"メニューの "ＨＤＭＩ出力"を "一部のテレビ用"に変更してください。(p. 36) ● テレビ側で 3D モードに設定してください。

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

○ ：記録/再生できる
△ ：再生のみできる
― ：記録/再生できない

メディアの選択		標準画質		ハイビジョン画質			参照ページ
		VHS（VHSテープ）	DVD（DVDディスク）	AVCHD DVD（DVDディスク）	Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）	HDD（機器内蔵のHDD）	
使用する機器	DVDライター	―	○	○	―	―	p. 23
	外付型ブルーレイドライブ	―	○	○	○	―	p. 23
	ブルーレイレコーダー	―	○	△ ※1	○ ※1	○	レコーダーの取扱説明書をご覧ください
	DVDレコーダー	―	○	△ ※1	―	○	p. 26
	ビデオデッキ	○	―	―	―	―	p. 26
	外付型ハードディスク	―	―	―	―	○	p. 27
	パソコン	―	※2	※2	※2	○	p. 28

※1 AVCHD対応機器のみ
※2 詳しくはWebユーザーガイドおよびEverio MediaBrowser 3 BEのヘルプをご覧ください。

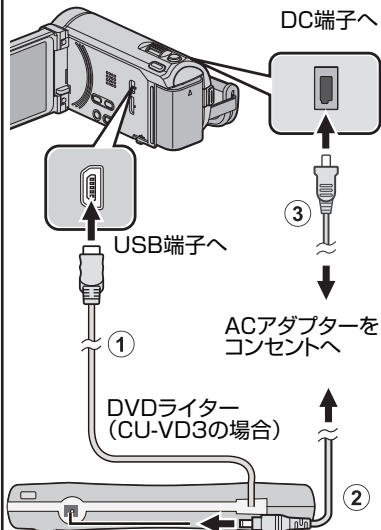
お知らせ

- 外付型ブルーレイドライブ、または外付型ハードディスクの最新情報については、下記のホームページをご覧ください。
I-O DATA社:http://www.iodata.jp/everio/
ビクター:http://www.victor.co.jp/dvmain/
- DVDライターや外付型ブルーレイドライブで作成したディスク、および外付型ハードディスクに保存したファイルを再生するときも、3D映像に変換して再生することができます。
- "AVCHD DVD"はDVDディスクにハイビジョン画質で保存（記録）します。AVCHDに対応していない機器では再生できませんので、ご注意ください。

DVDライターや外付型ブルーレイドライブでディスクを作る

以下はＤＶＤライターで説明していますが、外付型ブルーレイドライブの場合も同様の操作になります。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。
  ① DVD ライター付属の USB ケーブルでつなぐ
  ② DVD ライターの AC アダプターをつなぐ
  ③ 本機に AC アダプターをつなぐ
  - AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

- DVD ライターや外付型ブルーレイドライブの取扱説明書もご覧ください。
- 本体の電源が入り、"バックアップ"メニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、"バックアップ"メニューが表示されます。

2 DVD ライターまたは外付型ブルーレイドライブの電源を入れ、新しいディスクを入れる

■ 作成したディスクを再生するには

AVCHD 対応機器(ブルーレイレコーダーなど)で再生できます。

■ 対応する DVD ライター

- CU-VD50
- CU-VD3

■ 対応する外付型ブルーレイドライブ

- I･O DATA(アイ･オー･データ機器)社の BRD-3DU8、BRD-UH8LE または BRD-UH8S をお使いください。
- 外付型ブルーレイドライブに同梱の USB ケーブルを使うときは、延長 USB ケーブルをお買い求めください。

※ ミニ A(オス)－A(メス)
(ビクターサービス扱い:
QAM0852-001)

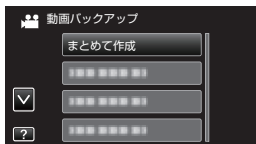
※:最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

お知らせ

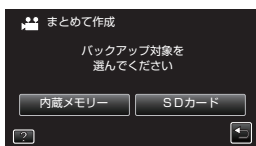
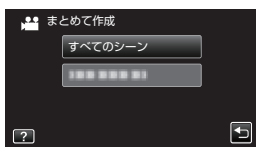
- ディスクに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
- CU-VD50 と本機の接続中は、DVD ライターのボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、機能しません。
- DVD-RW は、パソコンでフォーマットしてから使用することをおすすめします。

まとめて保存する

動画または静止画モードを選びます。

1 "まとめて作成"(動画)または "まとめて保存"(静止画)をタッチする

"メディア切替"を選ぶと、保存するディスクを変更できます。(詳しくは、Web ユーザーガイドをご覧ください)

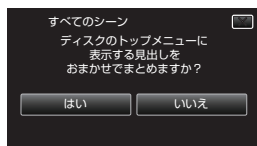
- "ＢＤ"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。(外付型ブルーレイドライブのみ)
- "ＤＶＤ(ＡＶＣＨＤ)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
- "ＤＶＤ−Ｖｉｄｅｏ"を選ぶと、標準画質に変換して DVD に保存できます。

2 保存するメディアをタッチする

3 作成方法をタッチする

"すべてのシーン"(動画)/
"すべての画像"(静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"(動画)/
"保存していない画像"(静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 "作成する"をタッチする

必要なディスクの枚数

5 "はい"または "いいえ"をタッチする

"はい"　:　撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
"いいえ":　撮影日単位でまとめた見出しにします。

6 "作成する"をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

7 作成が終わったら、"ＯＫ"をタッチする

8 本機の電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して電源を切ってから、USB ケーブルを抜く

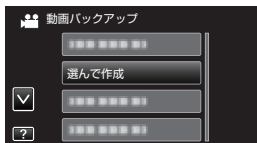
■「ファイナライズしますか？」と表示されたとき

"共通"メニューの "自動ファイナライズ"が "切"のときに表示されます。

- ほかの機器で再生するときは "はい"をタッチします。
- DVD に追記する予定があるときは "いいえ"をタッチします。

選んで保存する

動画または静止画モードを選びます。

1 "選んで作成"(動画)または "選んで保存"(静止画)をタッチする

- "メディア切替"を選ぶと、保存するディスクを変更できます。
(p. 24 または Web ユーザーガイドをご覧ください。)

2 保存するメディアをタッチする

3 作成方法をタッチする

"日付ごとに作成"(動画)/
"日付ごとに保存"(静止画):
撮影した日付ごとに動画、または静止画をまとめて保存します。➡A へ

"シーンから選ぶ"(動画)/
"画像から選ぶ"(静止画):
保存したい動画、または静止画を選んで保存します。➡B へ

A 日付ごとに作成/日付ごとに保存

① 撮影日をタッチする

- 選んだ日付(1 日のみ)のファイルだけを保存します。
- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4 ～ 8 と同じです。

B シーンから選ぶ/画像から選ぶ

① ファイルを選ぶ

- ファイルをタッチすると、チェックマークが付きます。

② 選び終わったら、"保存"をタッチする

- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4 ～ 8 と同じです。

■ 作ったディスクを確認するとき

手順 1 で "再生"を選びます。

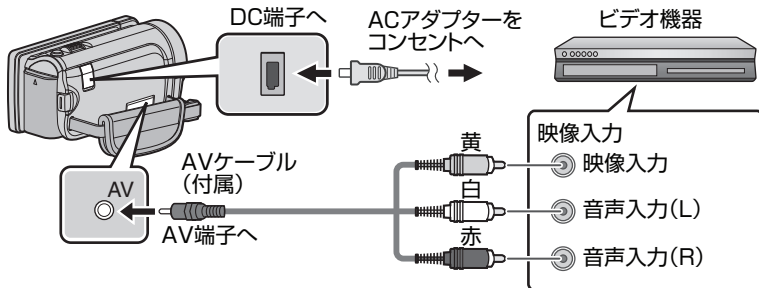
ご注意

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- ディスク作成中画面で作成を中止すると、書き込み中のディスクが使用できなくなります。
- 動画と静止画は同じディスクに保存できません。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。

DVD レコーダーやビデオデッキにつないでダビングする

DVD レコーダーやビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。
テレビや DVD レコーダー、ビデオデッキなどの取扱説明書もご覧ください。

1 ビデオ機器に接続する

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

- AC アダプターを接続すると自動で電源が入ります。

2 ●⇔▶ をタッチして、再生モードにする

3 録画の準備をする

テレビ・ビデオ機器の準備

- 対応する外部入力に切り換えます。
- DVD-R やビデオテープなどを入れます。

本機の準備

- "共通"メニューの "ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("４：３"または "１６：９")に合わせます。

4 録画を開始する

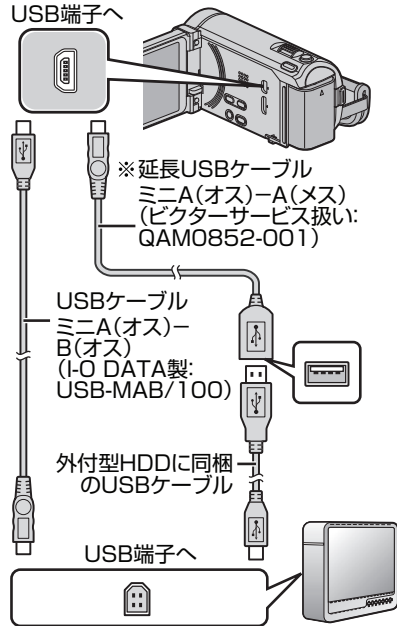
- 本機で動画を再生(p. 18)し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
- 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

外付型ハードディスクに保存する

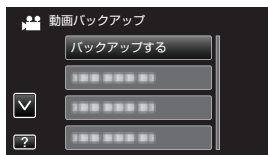
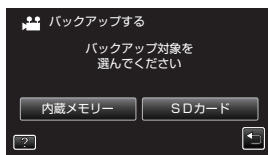
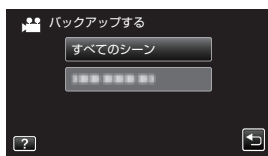
市販の外付型ハードディスク(以下、外付型HDD)に動画や静止画を保存したり、本機で再生したりできます。

■ 対応する外付型 HDD

I-O DATA(アイ・オー・データ機器)社の HDJ-U シリーズまたは HDCA-U シリーズ をお使いください。2 TB を超える外付型 HDD は使用できません。

■ 対応する USB ケーブル

※ 最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

動画または静止画モードを選びます。

1 "バックアップする"をタッチする

2 保存するメディアをタッチする

3 保存方法をタッチする

"すべてのシーン"(動画)/
"すべての画像"(静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
"保存していないシーン"(動画)/
"保存していない画像"(静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 バックアップを開始する

- 空き容量を確認してから、"はい"をタッチする

■ 保存したファイルを再生するには

手順 1 で "再生"を選びます。
外付型 HDD に保存した動画や静止画は本機で再生できます。

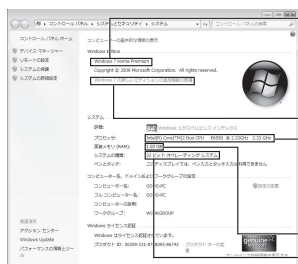
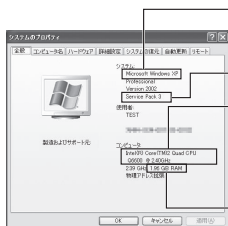
準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

パソコンに保存する

パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは

付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。
スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合

■ Windows XP の場合

■ そのほかの条件

ディスプレイ:1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)
グラフィック:Intel G965 以上を推奨

■ 動画編集

Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。BD･DVD ライター(別売)のご利用をおすすめします。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie'08、'09、'11(動画)または iPhoto(静止画)を使っても、コンピューターにファイルを取り込めます。
コンピューターの性能を確認するには、アップルメニューから「この Mac について」を選んでください。OS のバージョン、プロセッサ、搭載メモリーを確認できます。

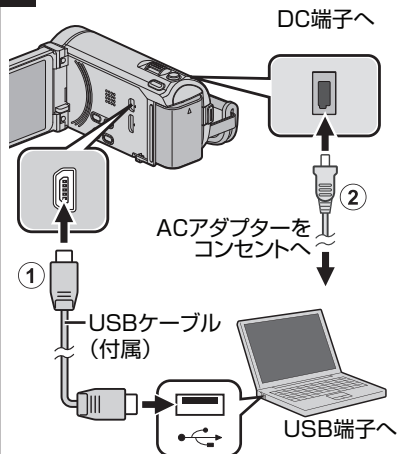
- iMovie または iPhoto の最新情報については、アップル社のホームページをご覧ください。
- iMovie と iPhoto の操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

付属ソフト(本機内蔵)をインストールする

付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 液晶モニターを開く

- 電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- 本体の電源が入り、"バックアップ"メニューが表示されます。

3 "パソコンと接続"をタッチする

4 "パソコンで見る"をタッチする

5 以下の手順をコンピューターで実行してください

① 自動再生画面で "INSTALL.EXE の実行"をクリックする。

② ユーザーアカウント制御画面で "続行(はい)"をクリックする。

- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ"が表示されます。
- 表示されないときは、(マイ)コンピュータのなかの "JVCCAM_APP"内の "install.exe"をダブルクリックします。

6 "Everio MediaBrowser 3"をクリックする

- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

7 "完了"をクリックする

8 "終了"をクリックする

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。

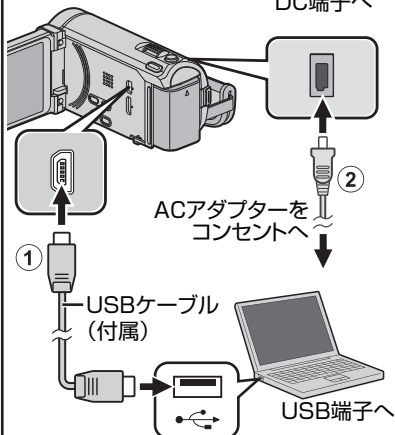
お知らせ

- Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 6 で "Web ユーザーガイド"をクリックしてください。
- Everio MediaBrowser 3 BE の操作方法は、Everio MediaBrowser 3 BE ツールバーの "ヘルプ"－ "MediaBrowser ヘルプ"をご覧ください。取扱説明書が表示されます。

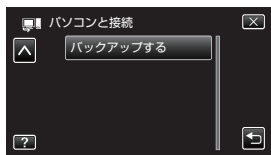
すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。空き容量が不足していると、バックアップを開始しません。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- 接続する前に電源ボタン(⏻)を 2 秒以上押して、電源を切ってください。

- 本体の電源が入り、"バックアップ"メニューが表示されます。

2 "パソコンと接続"をタッチする

3 "バックアップする"をタッチする

- パソコンで付属ソフト Everio Media-Browser 3 BE が立ち上がります。以降の手順は、パソコンで操作します。

4 ボリュームを選ぶ

5 バックアップを開始する

ファイルの保存先（パソコン）

6 バックアップが終わったら、"OK"をクリックする

付属ソフト **Everio MediaBrowser 3 BE** の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする

③ （Windows Vista の場合）"OK"をクリックする

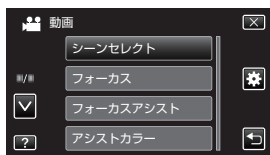
④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

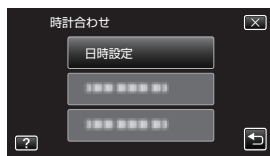
メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする

- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。
- フェイスショートカットメニュー(p. 34)は、"S"をタッチすると表示されます。

2 設定したいメニューをタッチする

- "共通"メニュー(p. 36)は、"⚙"をタッチすると表示されます。
- "∧" または "∨" をタッチすると、画面をスクロールできます。

3 設定したい項目をタッチする

■ 設定を終了するとき

"✕"をタッチする

■ 一つ前の画面に戻るとき

"⮌"をタッチする

■ ヘルプを表示するとき

"?"をタッチし、メニュー項目をタッチする

- ヘルプの表示がない場合があります。

設定メニュー一覧

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 32 をご覧ください。

■ マニュアル設定の項目

動画または静止画の撮影時に、マニュアル撮影の設定を変更できます。
（マニュアル撮影時のみ表示されます）

➡ マニュアル撮影モードに変更するには（p. 15）

シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
ナイトアイ：
周囲が薄暗いと、自動的に感度を上げて明るくします。
夜景：
夜景を自然な感じに撮影できます。
ポートレート：
背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。
スポーツ：
動きの速いものを 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できます。
スノー：
晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。
スポットライト：
ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。

フォーカス

手動でピント合わせできます。

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

明るさ補正

画面全体の明るさを補正します。
（動画と静止画で別々に設定できます）

シャッタースピード

シャッタースピードを調節できます。
（動画と静止画で別々に設定できます）

絞り優先ＡＥ

絞り値を調節できます。
（動画と静止画で別々に設定できます）

ホワイトバランス

光源に合わせて、色合いを調節できます。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

テレマクロ

ズームの望遠（T）側のときに接写できるようになります。

■ 動画撮影メニュー

タッチ優先ＡＥ／ＡＦ

人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット

風の音を低減します。

ＥＸＰＯＲＴ設定

iTunes へ転送するために EXPORT 属性を付けた動画を撮影します。

アニメーション撮影

映像にさまざまな演出効果を付けて撮影します。

高速撮影

撮影速度を上げて撮影し、スローモーションの動画を撮影します。

タイムラプス撮影

一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

ズームインピクチャー

タッチした顔を子画面に拡大表示して撮影します。

シャッターモード

連写を設定できます。

連写スピード

連写の速度を設定します。

スマイルショット

笑顔を検出したら、動画撮影状態はそのままで、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%/名前表示

顔を検出したときに表示する内容を設定します。

顔登録

よく撮影する人物の顔を事前に登録します。

動画画質

動画画質を設定します。(p. 37)

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

シームレス撮影

内蔵メモリーの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り替えて撮影を続けます。

x.v.Color

より忠実に色を記録します。
(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

ズームマイク

ズーム操作に合わせて、指向性のある音声を記録できます。

USER ボタン設定

よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。

■ フェイスショートカットメニュー(動画撮影モード時)

スマイルショット
スマイル%/名前表示
アニメーション撮影
ズームインピクチャー

■ 静止画撮影メニュー

- マニュアル設定の項目(p. 33)

タッチ優先 AE/AF

人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

フラッシュ

フラッシュを発光するか設定します。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

ISO 感度

被写体の明るさに応じて ISO 感度を設定します。

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

シャッターモード

連写を設定できます。

連写スピード

連写の速度を設定します。

スマイルショット

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%/名前表示

顔を検出したときに表示する内容を設定します。

顔登録

よく撮影する人物の顔を事前に登録します。

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

USER ボタン設定

よく使う機能を USER ボタンに割り当てます。

■ フェイスショートカットメニュー(静止画撮影モード時)

スマイルショット
スマイル%/名前表示
顔検出セルフタイマー

■ 動画再生メニュー

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

トリミング

動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します。

アップロード設定

撮影済みの動画から YouTube にアップロードする部分（最大 15 分）を切り出して、保存します。

ＥＸＰＯＲＴ設定

iTunes へ転送するために、撮影した動画に EXPORT 属性を付けます。

特殊ファイル再生

管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

K2 テクノロジー

撮影時に記録できない小さな音や高い音を再生成し、本来の音に近い音質で再生します。

■ 静止画再生メニュー

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

静止画転送

"共通"メニュー「Bluetooth」で設定した対応機器に撮影した静止画を転送します。

共通メニュー

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示（24h／12h）を設定します。

LANG.／言語

メニューなどで表示する言語を設定します。

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

動画記録メディア

動画の保存先を内蔵メモリーまたは SD カードに設定します。（p. 13）

静止画記録メディア

静止画の保存先を内蔵メモリーまたは SD カードに設定します。（p. 13）

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。

高速起動

5 分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。

リモコン

リモコンで操作できるようにします。

デモモード

本機の機能のデモを再生できます。

3D レベル調整

3D 映像の立体感を調整します。（p. 19）

タッチパネル調整

タッチパネルボタンの反応位置を調整します。

3D 注意表示

3D 視聴時の注意事項を表示するか設定します。

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時の表示を入/切できます。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせた画面比（16:9 または 4:3）に設定します。

HDMI 出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI ミニ端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

Bluetooth

Bluetooth 対応のスマートフォン/携帯電話、ヘッドセット、GPS レシーバーなどの機器を本機に登録して無線接続できます。
Bluetooth の詳しい説明については、Web ユーザーガイドをご覧ください。

自動ファイナライズ

作成する DVD を対応機器で再生できるように自動的にファイナライズします。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

PC 用ソフト更新

本機内蔵のパソコン用のソフトウェアを更新します。

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去（初期化）します。

SD フォーマット

SD カードのファイルをすべて消去（初期化）します。

メモリーデータ消去

本機を廃棄または譲渡するときに実行します。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間や撮影時間は、INFO ボタンを押すと確認できます。

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード					
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
UXP	5 時間 50 分	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	4 時間 20 分	5 時間 50 分
XP	8 時間 10 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 10 分	6 時間 10 分	8 時間 20 分
SP	11 時間 40 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 50 分	8 時間 40 分	11 時間 50 分
EP	29 時間 20 分	1 時間 40 分	3 時間 40 分	7 時間 10 分	14 時間 50 分	21 時間 50 分	29 時間 50 分

- 撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

画像サイズ	内蔵メモリー	SDHC カード			
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
3968X2976 (4:3)	8900	500	1100	2300	4700
2656X1992 (4:3)	9999	1200	2600	5200	9999
2304X1728 (4:3)	9999	1700	3400	6900	9999
1600X1200 (4:3)	9999	3500	7100	9999	9999
640×480 (4:3)	9999	9999	9999	9999	9999
1920×1080 (16:9)	9999	3200	6700	9999	9999

撮影時間の目安（バッテリー使用時）

■ 液晶モニターが３Ｄ表示の場合

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG114	35 分	1 時間
BN-VG121	50 分	1 時間 30 分
BN-VG138	1 時間 30 分	2 時間 45 分

■ 液晶モニターが２Ｄ表示の場合

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VG114	40 分	1 時間 10 分
BN-VG121	1 時間	1 時間 45 分
BN-VG138	1 時間 40 分	3 時間 5 分

- "モニター明るさ"が "標準"のときの値です。
- 実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。（撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします）
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。（新しいものに交換してください）

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

1 以下の「こんなときは・・・」をご覧ください。

2 Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。

使い方で困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。

- http://manual.jvc.co.jp/index.html/

3 ビクターホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

- http://www.victor.co.jp/

4 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。

そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。

① 電源を切る。(液晶モニターを閉じる)

② 電源(バッテリーとＡＣアダプター)をいったん取りはずし、再度接続して液晶モニターを開くと、本機の電源が入ります。

5 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス(裏表紙参照)にお問い合わせください。

こんなときは…

	こんなときは	ここを確かめてください	参照ページ
電源	画面を閉じると POWER/CHARGE ランプが点滅する	● バッテリーの充電中です。	10
撮影	撮影できない	● 🎥/📷 ボタンを確認してください。 ● ●⇔▶ をタッチし、撮影モードにしてください。	15 18
撮影	自動的に撮影が停止した	● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) ● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	- -
再生	音や映像が途切れる	● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	-
再生	3D 対応テレビで正しく 3D に見えない	● "共通"メニューの "ＨＤＭＩ出力"を変更してください。	-

		ここを確かめてください	参照ページ
その他	充電中、ランプが点滅しない	● バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) ● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	15 10
	本機が熱くなる	● 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ 記録できませんでした/カードへ記録できませんでした	● 本機の電源を入れ直してください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)	- -
内蔵メモリーエラー/カードエラー	● 本機の電源を入れ直してください。 ● AC アダプターとバッテリーを取りはずし、SD カードを入れ直してください。 ● SD カードの端子の汚れを取り除いてください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの "メモリーフォーマット"または "SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)	- - - -
撮影データが少ないため 保存できません	● タイムラプス撮影で、実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。	-

使用上のご注意

- **精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。**
  記録や再生ができなくなります。
- **本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。**
  内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- **撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。**
  データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVD などに定期的に保存することをおすすめします。
- **データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。**
  この処理は、お客様の責任において行ってください。
  万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

液晶モニターについて

表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ : 有限責任中間法人 JBRC http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽 CDを BGM とするムービーを編集する場合は、音楽CD の複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

認定機器について
本製品には、電波法及び電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
無線設備名：201WW07215204
したがって、本製品をしようするときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項をおこなうと法律により罰せられることがあります。
- 本製品を分解/改造すること。

他の無線機器との干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。
この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または本機の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、日本ビクターお客様ご相談センター（保証書、取扱説明書に記載）までお問い合わせください。

2. 4 FH 1

2.4 ：2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
FH ：FH-SS方式を表します。
1 ：想定される干渉距離が10m以下を表します。

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHDとAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと x.v.Color は商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）と HDMI は、HDMI Licensing, LLC の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- YouTube と YouTube ロゴは、YouTube LLC. の商標および商標登録です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iPod、iTunes、iMovie は、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc. の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporation の商標または登録商標です。
- BluetoothとBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc. の登録商標です。
- Eye-Fiはアイファイジャパン株式会社の登録商標です。
  その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

仕様

カメラ本体

電源	AC アダプター使用時：DC 5.2 V、バッテリー使用時：DC 3.6 V
消費電力	4.1W（液晶モニター　２Ｄ表示） 4.6W（液晶モニター　３Ｄ表示） （"モニター明るさ"が "標準"の場合）
外形寸法（mm）	54 x 62 x 121（幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	約 330 g（本体のみ）、約 370 g（付属バッテリー含む）
動作環境	許容動作温度：0℃ ～ 40℃、許容保存温度：－20℃ ～ 50℃、 許容相対湿度：35 % ～ 80 %
映像素子	1/2.3 型 1062 万画素（CMOS）
撮像エリア（動画）	282 万画素 207 万画素～477 万画素（ダイナミックズーム）
撮像エリア（静止画）	398 万画素～529 万画素（4：3） 299 万画素～397 万画素（16：9）
レンズ（動画）	F1.2～F2.8、f=3.76mm～37.6mm 35 mm カメラ換算：29.5 mm ～ 384 mm ※ 35 mm カメラ換算：29.5 mm ～ 448 mm（ダイナミックズーム）
レンズ（静止画）	F1.2～F2.8、f=3.76mm～37.6mm 35 mm カメラ換算：29.7 mm ～ 297 mm (4:3) 35 mm カメラ換算：32.4 mm ～ 324 mm (16.9)
ズーム（動画）	光学ズーム：～ 10 倍 ダイナミックズーム：～15 倍（手ぶれ補正切）、～13 倍（手ぶれ補正 アクティブモード入） デジタルズーム：～ 200 倍
ズーム（静止画）	光学ズーム：～ 10 倍
動画記録方式	AVCHD 規格準拠、映像： AVC/H.264、音声：Dolby Digital (2ch)
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	内蔵メモリー（64 GB）、SD/SDHC/SDXC カード（市販）、Eye-Fi カード（市販）
時計用電池	二次電池

※ ワイド（W）端を "手ぶれ補正"が "切"、テレ（T）端を "手ぶれ補正"が "アクティブモード"で計測しています。

AC アダプター（AP-V30）

電源	AC 100 V ― 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 5.2 V、1 A
許容動作温度	0℃ ～ 40℃（充電時は 10℃ ～ 35℃）
外形寸法（mm）	78 × 34 × 46（幅×高さ×奥行き：コードと AC プラグを含まず）
質量	約 107 g

- 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」（p.38）にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-727-231

フリーダイヤルが使用できない場合 ☎ 06-6633-2990

ホームページ http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、次の電話番号をご利用ください

☎ 045-450-8950

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、または
ビクターサービス修理受付センター
にご相談ください。

ビクターサービス修理受付センター

☎ 0800-800-9928

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、次の電話番号をご利用ください

☎ 045-453-2960

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.43をご覧ください。

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

日本ビクター株式会社
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

C1CW 0111HOH-SW-VM